

1 学年・教科 中学校 第2学年 美術

2 題材名 「わたしたちの季節を表した和菓子づくり」

3 指導計画

時間	ねらい	学習活動	評価			
			知	思	態	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「和菓子とは何か」を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の有名な創作和菓子屋の和菓子の画像を鑑賞する。</li> <li>和菓子が四季折々の日本の美しさを表現していること、日本の美意識について気付かせる。</li> <li>見た目、匂い、切ったときの感触や食感、味わいなど、五感で楽しむものであること、そしてそれは客人に対するおもてなしの心であることに気付かせる。</li> </ul>	知			発言の内容、ワークシート
2 ③ 本時 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な情報や体験をもとに発想する。</li> <li>和菓子のつくり方を調べ、樹脂粘土で自由に試すなどし、主題をどのように表すか構想を練る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとの季節感を感じるモチーフや情景を考え、全体で共有する。</li> <li>思い付いたモチーフや情景を四季に分類した上で、さらに目に見えるものと見えないものに分類する。</li> <li>モチーフや情景の様子を擬音で表現し、主題を明確にする。</li> <li>アイデアスケッチを相互鑑賞し、客観的な視点も取り入れてデザインを決定する。</li> <li>樹脂粘土で自由に試しながら、色の混ぜ方や樹脂粘土の特性を知り、制作に見通しをもつ。</li> </ul>		発		ワークシート、アイデアスケッチ

5 6 7 8	・材料や用具の特性を生かしながら表現方法を工夫する。	・材料や用具を変えながら何度も試作を重ね、主題を表せるよう表現を追究する。	技		態表	活動の様子、作品、ワークシート
9	・和菓子に込めた思いを交流し合い、作品を鑑賞する。	・他者の表現の意図を聞きながら鑑賞し、感想を述べ合う。			鑑態鑑	活動の様子、ワークシート

知…知識、技…技能、発…発想や構想、鑑…鑑賞、態表…表現する活動における「主体的に学習に取り組む態度」、態鑑…鑑賞する活動における「主体的に学習に取り組む態度」

#### 4 期待できる基礎的・汎用的能力

- (1) 人間関係形成・社会形成能力（他者の個性の理解、他者に働きかける力）【人】
- (2) 課題対応能力（情報の理解・選択・処理等、課題発見）【課】

#### 5 本時の目標

ふるさとの季節感や情景などから、つくりたい和菓子の主題を生み出す。

(思考力、判断力、表現力等)

#### 6 本時の指導（3／9時）

	時配	学習活動	○指導上の留意点 ★キャリア教育の視点	評価			
				知	思	態	評価方法
導入	5	1 「和菓子とは何か」導入時の学習を振り返り確認する。 ・本時の学習内容を知る。	○資料を見ながら振り返り、和菓子に込められた思いを確認できるようにする。				
<p>多くの人に喜んでもらえる和菓子の主題を、ふるさとの季節感や情景などから考えよう。</p>							
展開	15	2 季節を感じるモチーフや情景を考え、発表する。 ・千葉県やふるさとの四季を感じるモチーフ： ハマヒルガオ、サーフィン、黄の銀杏の葉、秋桜 他	○発表を通して、我々が住み日頃生活している中で感じる千葉県やふるさとの季節の美しさや面白さを再確認できるようにする。				

		<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県やふるさとの四季を感じる情景・場面： 合鴨の泳ぐ田んぼ、 ○○公園のイルミネーション 他</li> </ul>	<p>○思い付いたモチーフや情景を四季に分類させ、さらに目に見えるものと見えないものにも分類させながら発表させ、そのモチーフの特徴や魅力を深く考えられるよう声かけを行う。</p>				
20	3	<p>モチーフや情景、場面の様子を擬音で表現し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きらきら、ぼや～等：視覚</li> <li>・ざぶん、さらさら等：聴覚</li> <li>・じわ～、ぴりっ等：味覚</li> <li>・ふんわり、ひやり等：触覚</li> <li>・つーん、すっきり等：嗅覚</li> </ul>	<p>○季節を感じるモチーフや情景、場面の様子を擬音で表現させ発想を広げる。その擬音によって五感のどの部分で特に感じているのかも意識させ、主題を明確化させる。</p> <p>★根拠を明らかにして自分の考えを述べたり、生徒同士で批評したりして、自分の気付かなかった良さを発見する。 【人】</p> <p>○モチーフが同じであっても、表現が人によって違うということは、それぞれがもつイメージや表現したいことに違いがあるということを理解させる。</p>				
5	4	<p>モチーフや情景、場面を選ぶ。</p>	<p>○自分が強くつくりたいと思ったモチーフや情景、場面を、ワークシートに書いたものや発表の中から選ぶよう声かけをする。</p> <p>★どのようなものが多くの人に喜んでもらえるかなど客観的な視点を大切にしながら、生徒自らが強く表したいことを心の中に思い描き、主題を生み出す。【課】</p>				

			○季節を感じさせるモチーフや情景、場面を考え、その様子を擬音で表現したり、話し合ったりしたことなどから主題を生み出しているかを評価する。 (発想や構想)				ワークシート
まとめ	5	5 振り返りシートを記入する。	○自分の決めた主題を確認し、次時のアイデアスケッチ時に大事にしたいことを確認させる。				

## ★小・中・高接続のポイント

### 「人間関係形成・社会形成能力」について

(小) 「適宜共同して作り出す活動を取り上げるようにする」

小学校学習指導要領解説 図画工作編 第4章 1 (5)

「各活動において、互いのよさや個性などを認め尊重し合うようにする」

小学校学習指導要領解説 図画工作編 第4章 2 (5)

「〔共通事項〕に示す事項を視点として、感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動を充実する」

小学校学習指導要領解説 図画工作編 第4章 2 (9)

(中) 「互いの個性を生かし合い協力して創造する喜びを味わわせるため、適切な機会を選び共同で行う創造活動を経験させる」

中学校学習指導要領解説 美術編 第4章 2 (5)

「各活動において、互いのよさや個性などを認め尊重し合うようにする」

中学校学習指導要領解説 美術編 第4章 2 (4)

「〔共通事項〕に示す事項を視点に、表現において発想や構想に対する意見を述べ合ったり、鑑賞において作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合ったりする」

中学校学習指導要領解説 美術編 第4章 1 (1)

(高) 「〔共通事項〕に示す事項を視点に、(中略) 価値意識をもって批評し合い討論する機会を設け、自他の見方や感じ方の相違などを捉えて、対象の見方や感じ方を深めるなどの言語活動の充実を図る」

高等学校学習指導要領解説 芸術編 第1部 第2章 第4節 美術 I 4 (8)

高等学校学習指導要領解説 芸術編 第1部 第2章 第7節 工芸 I 4 (7)

## 「課題対応能力」について

(小)「児童が感じたこと、想像したことなどのイメージから、表したいことを見付けて、好きな形や色を選んだり、表し方を考えたりしながら、技能を働かせて表す」

### 小学校学習指導要領解説 図画工作編 第2章 第2節 2 (1)

「活動の全過程を通して児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるようにし、自分のよさや可能性を見だし、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う」

### 小学校学習指導要領解説 図画工作編 第4章 2 (4)

(中)「自己の内面などを見つめて、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、それらを基に創造的な構成を工夫したり、目的や条件などを基に主題を生み出し、分かりやすさや使いやすさと美しさとの調和を考えたりする」

「発想や構想をしたことなどを基に表すために、形や色彩などの造形の要素の働きや、材料、用具などの理解と表現方法などを身に付け、感性や造形感覚、美的感覚などを働かせて、表現方法を工夫し創造的に表す」

### 中学校学習指導要領解説 美術編 第2章 第2節 2 (1)

「主題を生み出すことから表現の確認及び完成に至る全過程を通して、生徒が夢と目標をもち、自分のよさを発見し喜びをもって自己実現を果たしていく態度の形成を図る」

### 中学校学習指導要領解説 美術編 第4章 2 (2)

(高)「身近な自然や自己、生活などを深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、豊かに発想し創造的な表現の構想を練り、材料や用具の特性を生かし、主題を追求し創造的に表す」(絵・彫刻)

「心豊かな生活や社会を創造するために、目的や条件を基に美しさなどとの調和を考えて主題を生成し、デザインがもつ機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練り、材料や用具の特性を生かし、目的や計画を基に創造的に表す」(デザイン)

「写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの特性を生かし、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に主題を生成し、映像表現の視覚的な要素の働きを踏まえてカメラやコンピュータなどの映像メディア機器等の特性を生かした表現方法などを創意工夫し、表現の意図を効果的に表す」(映像メディア表現)

### 高等学校学習指導要領解説 芸術編 第1部 第2章 第4節 美術 I 3 A 表現

「身の回りの自然や身近な生活に目を向け、使いたいものやつくりたいものなど自己の思いを重視して発想し、用途と美しさの調和を考え、日本の伝統的な表現のよさなどを生かして制作の構想を練り、材料や用具を生かし、創造的に表す」(身近な生活と工芸)

「使う人の側から生活や社会を見つめるなど社会的な視点に立って発想し、使用する人や場などに求められる機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練り、材料や用具を生かし、創造的に表す」(社会と工芸)

### 高等学校学習指導要領解説 芸術編 第1部 第2章 第7節 工芸 I 3 A 表現

「発想から完成に至るまでの全過程を通して、主体的に目標を設定し、創意工夫しながら個性を発揮して創造活動に取り組み、自己決定を積み重ねながら理想を目指して自己実現を果たしていく態度の形成を図る」

### 高等学校学習指導要領解説 芸術編 第1部 第2章 第4節 美術 I 4 (6)

### 高等学校学習指導要領解説 芸術編 第1部 第2章 第7節 工芸 I 4 (5)

## ★その他

キャリア教育の視点から、地元の和菓子職人の方と連携すると、より効果的な取組が期待できる。

### 【取組例】

- ・和菓子に込められた思いなど、和菓子についての説明を伺う。
- ・和菓子のつくり方（技法）を教えていただく。
- ・和菓子コンテストを行い、和菓子職人の方に審査をしていただく。
- ・コンテストの優秀作品を、実際に商品化していただく。

その他として、地域や企業等と連携した取組を行うことも考えられる。

### 【取組例】

- ・観光協会や行政機関などと連携して、地域のよさや美しさをPRするポスターや観光マップを作成し、地域の商店や公共施設等に掲示したり配布していただいたりする。
- ・地域の特産品の生産者に特産品の特徴や商品に込めた思いなどを伺い、パッケージデザインを考える。
- ・商品を包む包装紙や手提げ袋をデザインし、地域の商店街で実際に使っていただく。